

## 第2回介護・医療連携推進会議 議事録

日時：平成27年9月16日（水）10：00～11：00

場所：ザタワーズイースト 3F I-link ルーム 1

### 1.開会

#### (1) 市川市福祉公社常務理事より挨拶

開会にあたり定期巡回随時対応型訪問介護看護事業の現状を説明

#### (2) 委員等紹介

[委員]

地域住民代表者（藤城委員）、当該事業に知見を有する関係者（村上委員）、市川市福祉部福祉政策課（山田様）

[オブザーバー]

市川市福祉部福祉政策課（佐久間様）、あんしん大柏包括支援センター（小倉様）、セントケア市川（鶴川様）、しらぎく園（村尾様）、ジャパンケア（藤村様）

[事務局]

常務理事（下川）、事務局長（高久）、訪問介護課課長（長尾）、事業管理者（市川）、計画作成責任者（阿部、菅野、澤村）、オペレーター（萬徳）

### 2.サービス提供状況報告・お客様の状況

事務局（阿部）よりサービス提供実績や相談受状況について資料をもとに説明した。

### 3.定期巡回随時対応サービス 自己評価・外部評価について

事務局（長尾・市川）より、定期巡回随時対応サービス・自己評価について報告をした。

#### ■サービス提供状況報告について感想及び意見

<村上委員>

このサービスを利用して、状況が変わり他のサービスに移行する事はとても良い事だと思う。

Q<山田委員>

定期巡回から他のサービスへの切り替えの利用者は？

A<事務局（阿部）>

現在までの利用者で切り替えた方はいないが、現在検討中の方が2名いる。

定期巡回での役割である、服薬介助もご自分で出来る様になっており、随時の訪問も減って来ている為、他のサービスへの移行を検討している。

Q<藤城委員>

今の件数を訪問するには、現在の職員数では限りがあるのではないかと？

A<事務局（長尾）>

公社では夜間対応型サービスも行っており、夜間帯に於いては職員で訪問が出来ている。

日中帯は約200名の登録ヘルパーが在籍しており、各エリアのヘルパーが担っている。

今後ニーズが増えれば他事業所への派遣依頼も出来る為、件数増も対応可能だと考えている。

■定期巡回随時対応サービス 自己評価について感想及び意見

Q<村上委員>

インフォーマルなサービスを提案するのは難しいのではないかと？

A<事務局（長尾）>

他市町村では、総合事業ができておりボランティアなどがある。

Q<村上委員>

地域に向けた情報発信や地域の勉強についてはどの様に行なっているか？

A<事務局（長尾）>

専門部会に一回参加させて頂いた。今後どの様な場に行ったらよいか検討はしている。現在は、実績報告時に各事業所へ訪問し個別に事業の説明を行っている。

Q<山田委員>

項目 10、個人情報マニュアルについて、先ほど 200 名程のヘルパーさんがいるとの事だったが、そのヘルパーさんにはどの様に周知しているのか？

A<事務局（長尾）>

「ヘルパーの手引き」を基に採用時の新任研修内で説明を行っており、その後、年に 1 回の毎月の定例会において周知を行っている。

Q<山田委員>

項目 10、個人情報について、ヘルパーさんが訪問する時はどうしているのか？

A<事務局（長尾）>

最低限の記録簿のみ持参しており、何かあれば各ヘルパーステーションで閲覧できる様にしている。

Q<山田委員>

項目 25 について、具体的な関係機関とはどの様に行なっているか？

A<事務局（長尾）>

公社としては、ケアマネージャーを通してその様な提案をさせて頂いている。

<事務局（阿部）>

現在も家事の多い部分に関しては家政婦を導入して、定期巡回と併用してサービスの提供をさせて頂いている。

Q<山田委員>

項目 28・29 番について 会議録だけでなくホームページの中で、より具体的な内容を掲載してほしい。

A<事務局（長尾）>

今後改善して参ります。

<藤城委員>

項目9について、個人情報の問題もあるが災害時は特別だと思う。災害時はその場の判断も必要。マニュアル通りには必ずしも行かない時もある。その場の判断は現場を知っている者の判断が重要であり、臨機応変な対応が必要となる。評価については自己評価のままでよいと思う。

■オブザーバーより意見

<福祉政策課 佐久間氏>

今まで資料は見えていたが、初めて参加させて頂き定期巡回の良い部分を聞く事が出来参考になった。

現在、議会中だが議員からも質問が上がり、定期巡回について在宅サービスの鍵として関心を持たれている。市としてもバックアップしたい。他の市町村から定期巡回から他のサービスへ「卒業」いう事を聞いており、市川市でもその様になればと思っていた。今回その様な例を聞く事ができ嬉しく思っている。

評価の実施等について、自己評価・外部評価を基に質の向上をするよう厚労省からも通知が来ていることも併せてお伝えしておく。

Q<あんしん大柏 小倉氏>

包括として高齢者虐待に係わっている。包括職員として定期巡回サービスで複数回訪問してくれている事で安心している。複数の職員が訪問しているが、情報共有についてどの様にしているのかお聞きしたい。

A<事務局（阿部）>

特変があれば、報告をもらっている。その報告を必ずケアマネージャーに報告し連携を図っている。

<事務局（長尾）>

介護システムを使用し経過録に残すようにしている。また、緊急等については迅速に周知できるようカードックスを導入し手書きで対応している。

Q<しらぎく園 村尾氏>

今後の利用者件数はどの位を見込んでいるのか？また、訪問時の緊急時の対応方法はどの様にしているのか？

A<事務局（長尾）>

今年度は14件を目標としている。ただし、30件を超えないと収支バランスは取れないと思っている。

<事務局（阿部）>

緊急時の対応については、ご利用者ごとに緊急時の対応方法の取り決めを行っている。定期巡回のサービスについては、訪問看護と連携している為、いつでも相談できるので何かあれば相談し指示をもらっている。

Q<しらぎく園 村尾氏>

連絡はどこからするのか？

A<事務局（阿部）>

まずオペレーターに報告し、そこから訪看や家族・ドクターに連絡し連携している。

<セントケア 鷗川氏>

セントケアはホームページも出来ていない為、これから会社に報告し参考にしたい。

<ジャパンケア 藤村氏>

ジャパンケアでは、船橋と柏でこの事業を行っており市川でも参入について検討している。訪問介護と定期巡回の使い分けをしっかりとしており、今後参考にしていきたい。

■委員退任のご挨拶

仕事の都合により今回の会議にて退任される村上委員より挨拶があった。

上記の通り、委員の方より頂きました、貴重なご意見をもとに今後とも取り組んでまいります。

長時間にわたり、ありがとうございました。

以上

文責：市川市福祉公社  
訪問介護課 巡回係 阿部